opusdei.org

## 属人区長のメッセー ジ(2024年5月15 日)

聖霊降臨の祭日にあたり、オプス・デイ属人区長は霊魂における聖霊の働きと黙想するよう招きます。また進行中の 規約についての作業のために 祈り続けるよう励まします。

2024/05/15

愛する皆さんへ。イエスが私の子ど もたちを守ってくださいますよう に! 来る19日に祝う聖霊降臨の祭日は、 教会の誕生に際して聖霊が目に見え る形で到来したことを記念する特別 な機会です。弁護者は、清めの炎と 激しい風という形の下、使徒たちに 新しい知恵と新しい愛、そして勇敢 に福音宣教へと向かう原動力を与え ました。

同時に、この祝日は、無限の愛である聖霊の働きを黙想し、感謝し、私たちの心を聖霊に開くための好機でもあります。聖霊は、成聖の恩恵によって、私たちをキリストにますます同化させ、キリストにおいて、ますます父なる神の子としてくださいます。

聖霊降臨の祝日の準備として、この数日間、次の聖パウロの言葉を改めて黙想することは助けとなるでしょう。「神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れ

る霊ではなく、神の子とする霊を受 けたのです。この霊によってわたし たちは、『アッバ、父よ』と呼ぶの です」(ローマ8・14-15)。私の心 には、次の創立者のパドレの言葉が 直ちに思い浮かびます(皆さんの多 くも同様でしょう)。それは1931年 10月16日にマドリードの路面電車で 起きた出来事についての言葉です。 「私は主の働きを感じました。それ は私の心と唇に働きかけ、抗しがた い力によって、『Abba! Pater! (アッバ!おとうさん!) 』と私が 優しく呼びかけるように駆り立てた

このようにして、聖ホセマリアの心に、オプス・デイの精神の土台である神の子としての自覚が生まれました。この自覚は必然的に教会における(また教会の小さな一部分であるオプス・デイにおける)兄弟愛、そして使徒職への原動力へとして表れます。

のですし。

何度も繰り返しますが、進行中の私たちの規約についての作業(それは皆に関わることです)のための、皆さん一人ひとりの「心も思いも一つにし(た)」(使徒言行録4・32)祈りを頼りにしています。今月の初め、聖職者省のメンバー4人とオプス・デイの教会法専門家4人(男性3人、女性1人)による最初のミーティングが開かれました。6月末に2

回目のミーティングが同じような形 で行われることが予定されており、 それはおそらく夏以降も継続するで しょう。その目的は、教皇様の「カ リスマを守るため | (Ad charisma tuendum)という指針に沿いなが ら、つまりカリスマの本質的な要素 (世俗的そして主に信徒的性格、信 徒〈男女〉と司祭の召し出しにおけ る一致など)を守りながら、可能な 限り最も良い形で、「オプス・デイ の規約しを形にすることです。聖霊 降臨の祭日は、私たち一人ひとり が、家族として、上述した神の子の 精神を生きると同時に、規約につい ての作業における弁護者の働きを も、私たちが信頼するよう助けてく れます。

来る25日には、皆さんの兄弟である29名のオプス・デイのメンバーの司祭叙階が行われます。この数日間、祈りの中で彼らのことをもよく思い出すようにしましょう。

聖霊降臨は5月に祝われます。そして聖母はすべての恵みの仲介者です。そういった意味で、「すべての人に注がれる聖霊は聖母から来る」(クレタの聖アンドレ、マリアに関する説教II)ということを考えることは助けになるかもしれません。

心からの愛情を込めて皆さんを祝福 します。

皆さんのパドレ

フェルナンド

ローマ、2024年5月15日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-messeeji-20240515/(2025/12/10)